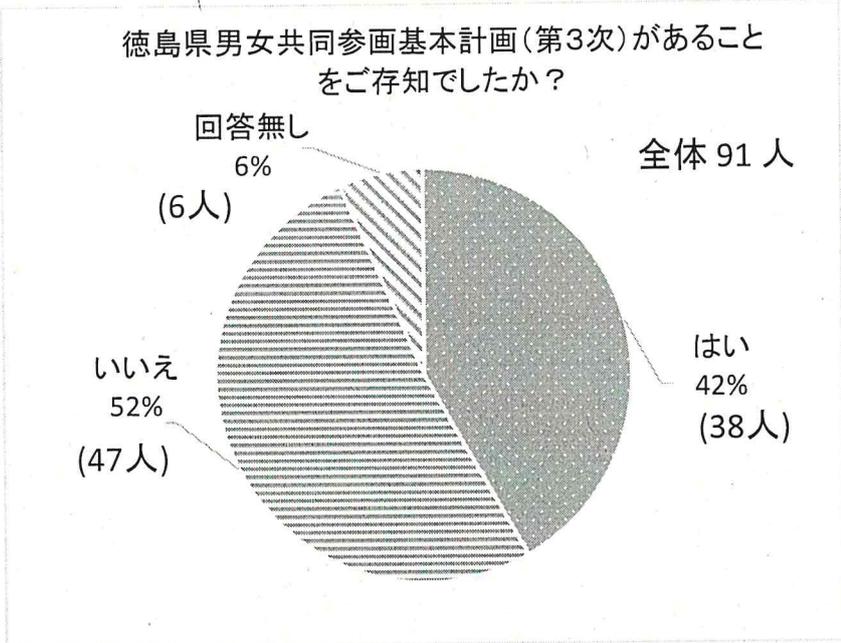
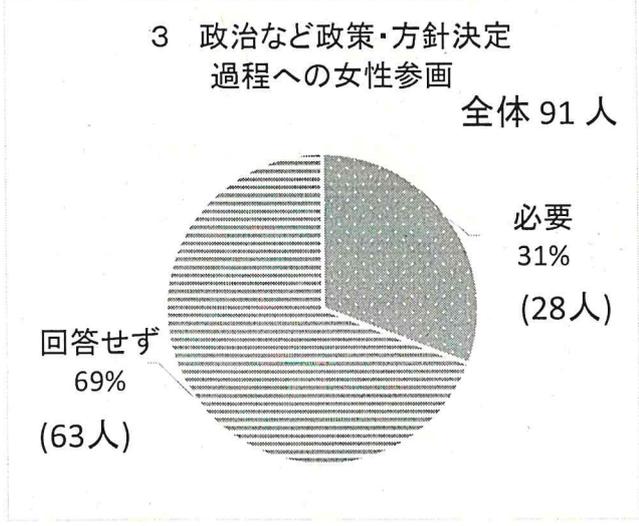
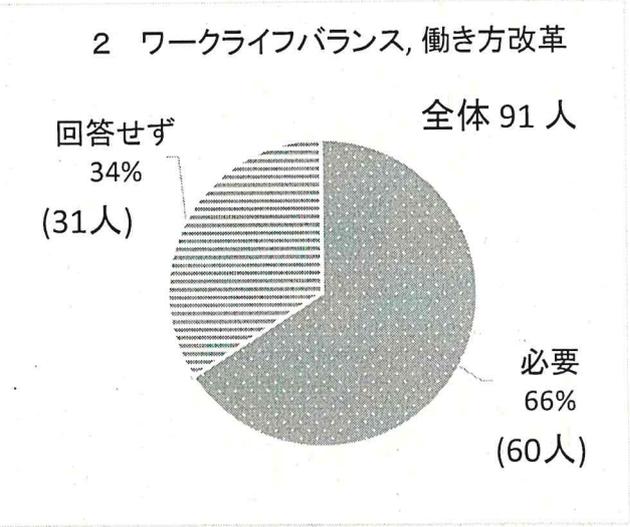
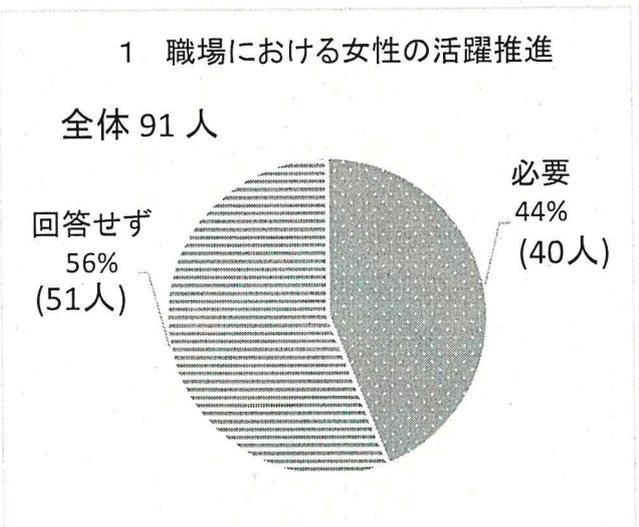


新しい「徳島県男女共同参画基本計画」策定に向けたアンケート結果



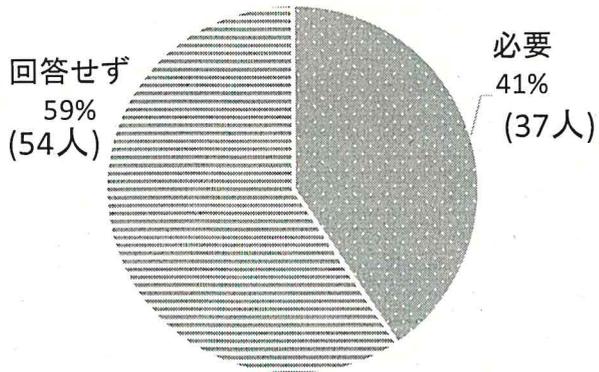
実施日：平成30年7月8日
 実施要領：ときわプラザにおいて
 開催した徳島県男女協調週間講
 演会において、参加者に対して
 アンケート用紙を配付。
 回答人数：91名

あなたは、今後更に男女平等や、男女共同参画を進めていく上で、特にどのような分野での取組が必要だと思いますか？(複数回答可)



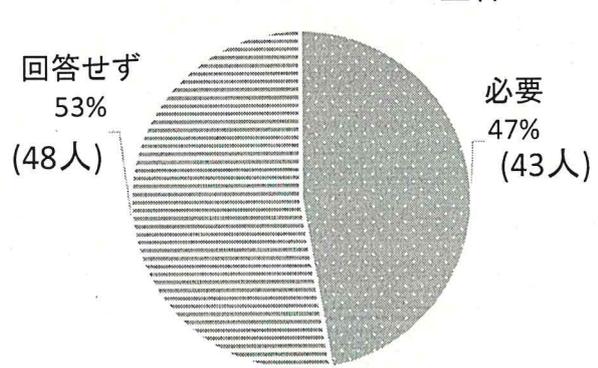
4 DVなど女性に対する暴力防止

全体 91 人



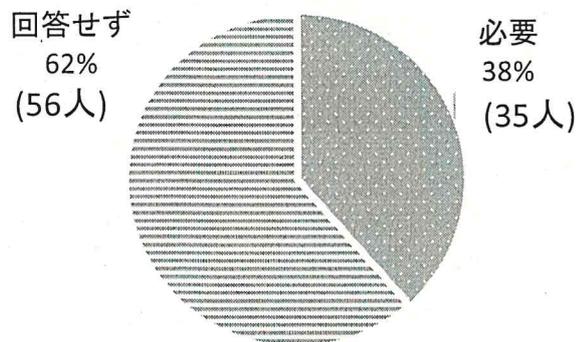
5 健康, 妊娠等への男女の相互理解

全体 91 人



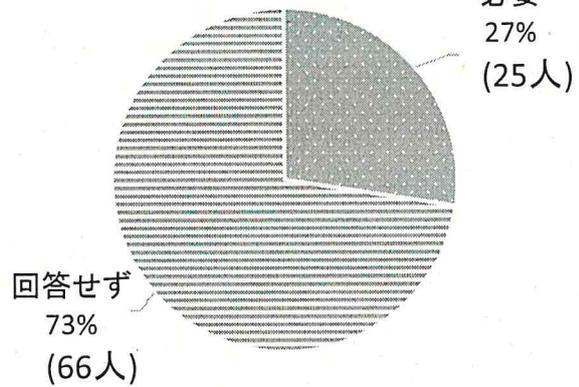
6 生活上困難を抱える人へのサポート

全体 91 人



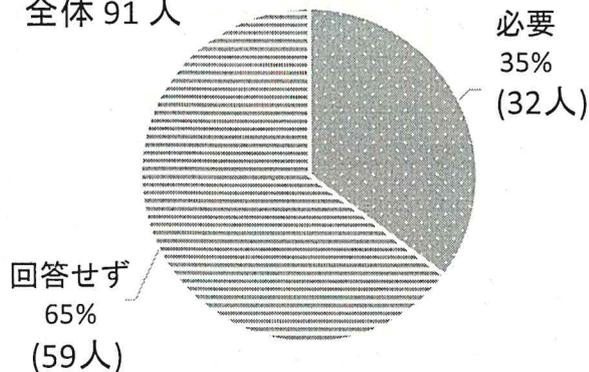
7 男女共同参画に向けた意識改革

全体 91 人



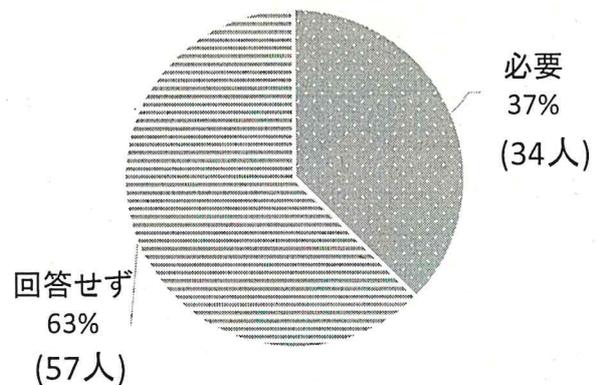
8 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

全体 91 人



9 地域社会における男女共同参画の推進

全体 91 人



○ 「今後更に男女平等や、男女共同参画を進めていく上で、特にどのような分野での取組が必要と思いますか？」の設問に対し、「その他(自由記載欄)」を選んだ人の記載内容

1	1人の人間としての人生の過ごし方
2	“オッサン社会”の改革
3	男女の賃金格差の是正

○具体的にどのような取組が必要と思いますか？

1	地域の関わりが、現在減っているところが気になります。地域と連携している交流会やもの作りを通して性別、年齢を超えた関わりができることが必要だと思います。
2	小学校、中学校、高校と、教育を行う。
3	政治に関心を持てるような会
4	特に若い世代に向けた人権教育・啓発
5	若い女性の団体立ち上げ、継続支援。9条や戦争などが関係ないエンパワメントの会の支援。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり親だけでなく女性が未婚のまま子を出産して育てられる環境のサポート ・ 中小企業の経営者・人事担当への男性育休取得・マタハラ防止の啓発
8	数値目標にとらわれず、幸せ感が得られるもの
9	子どものいる人も、いない人も、それぞれの人が輝ける社会を作る取組
10	女性が子どもを預けて仕事ができる体制、家族のサポート。女性が子どもを預けて仕事をするという意識。キャリアビジョン。
11	少しずつ進んでいるとはいえ、まだまだ意識は古いものがあります。しっかりとした啓発、取組を望みます。
12	幼いころからの教育。一度身に付いた意識を変えることは困難。
13	たくさんの悩み悲しみを抱え、孤立している女性や母親が多い様に感じます。弱い方向へと流れ、子ども達に多くの犠牲が強いられています。行政は“待ち”の姿勢ではなく、声なき声を拾うため打って出てください！海原Dr.の様に心ある行動を望みます。
14	男女共同参画の視点に立った学校教育、家庭教育。
15	女性がひとりで子育てしながら生きていける社会にする。超過勤務時間ゼロに向けての取組

16	講演会を開いたり、ディスカッションをしたり。
17	“オッサン”の引退。人の邪魔をしない(女性同士の足の引っ張り合い)。
18	男として、女としてではなく、“人として”という考えが大切だと思う。→平等につながると思う。 男だから〇〇とか女だから〇〇という考えは無くすべきと思う。
19	育児で退職した女性の再就職支援
20	政治家の半数を女性にする。定数を決める。職場の管理職の半数を女性にする。
21	自分に自信をもてるように。自分を愛せるように。

○新しい計画に望むことがあれば、お聞かせください。

1	海原さんのようなアドバイザーに意見を求める。
2	40代以上の男性に対して女性がいろいろな役職につくことに対して、足を引っ張ったり、嫉妬しないように研修をしてほしい！
3	女性を立てるようなものにできれば
4	実効性のある取組にしてほしい(抽象的な啓発活動ではなく)
5	みんなに知れ渡るもの
6	10年、20年後の具体的な(計画)
7	今回は素晴らしい講演者ですがのに会場が狭く、もったいないです。もっと大きな会場で「講演&ライブ」仕事とプラス気分転換がどれほどの活力を人生に与えるかなど人生の生き様を学習していきたいです。
8	県民にわかりやすい計画
9	外国から来て住んでいる人たちとの共生・支援
10	参加型

